



編集メモ

ウイスキーが好きである。晩酌としてウイスキーをその香りとともに口に含むと、日常の疲れがすうっと取れる気がする。学生の頃、山登りにいく際に携えるアルコールは決まってウイスキーであった。マルキルの水筒にウイスキーを詰めていき、山小屋の中で、テントの中で、雪洞の中でちびりちびりとやるのである。ウイスキーは重さに比してアルコール濃度が高いので、ウェイトパフォーマンスが良い。当時持っていたウイスキーはホワイトであったりダルマであったりしたろうか。学生とはいえ流石にトリスではなかったと思う。

村上春樹のエッセイで『もし僕らのことがウイスキーであったなら』という本がある。聖地アイラ島を旅して写真とともにシングルモルトウイスキーを語っている。本書を手にする前からアイラ島のシングルモルトが好きであった私は、本書を手にしてその思いを強くした。自分もアイラ島にいきたい。しかし実際にはアイラ島はあまりにも遠く、そうすぐにいけるものではない。仕方ないので、ラフロイグを買うとついてくる1平方フィートの土地を自分の名前で登録できる権利を行使して、魂魄だけ現地入りさせている。

目の前の棚にウイスキーの瓶が並んでいる。ボウモア、ラフロイグ、アードベッグといったアイラ島のシングルモルトに、グレンリベット、ブレンドウイスキーとしてはバランタイン 17 年、バーボンにはフォアローゼズのブラックもある。しかし、棚の上に置いていないウイスキーが一本だけある。それは箱に入れたまま

床の上に置いている。地震で棚が倒れても割れないためである。その名は「響 100 周年アニバーサリーブレンド」、17 年もののブレンドウイスキーである。定価は 5 万円ほどであるが、なかなか手に入らない。昨今、ジャパニーズウイスキーの評価が高く、値段もそれにつれて上昇。入手は困難となっている。ANA の国際線のファーストクラスに乗ると、一瓶だけ購入できるようなのである。普段、酒屋で買うウイスキーは数千円であるが、こちらは数万円である。この記念ブレンドの他に 21 年ものや 30 年ものも販売しているようだが、さらに高価である。さて、味はいかがであろうか。厚岸やその他のジャパニーズウイスキーはそれなりに味わってきたが、この響は別格である。繊細で香り高い芳香が口の中で広がる。晩酌で飲むダブルの一杯が原価で 4,600 円である。美味しいわけである。20 年ほど前、ジャパニーズウイスキーがまだ有名でない頃にも響や竹鶴の 21 年ものなどの美味しいウイスキーは嗜んできたが、この 20 年で味がさらに進化したように思う。やはり、日本人の熟練した技術で作るウイスキーの味は確かに年々進化しているのである。同じ響 17 年でも 20 年前にブレンドされたものとは違う気がする。

さて、我々の手術技術はこの 20 年、進歩しているのであるか。もちろん、胸腔鏡下手術 (VATS) であったりロボット支援下手術 (RATS) であったり表面上の技術は進歩しているし、N0 肺癌の切除技術の均霑化は進んだといえよう。しかし、進行肺癌や肺移植の技術はいかほど進んだのであろうか。おそらくそれほど技術が進んだとはいえないのであろう。何故なら、評価の結果として値段があるとすれば、手術の値段は変わっていないのであるから、10 倍の値段を払っても購入するウイスキーはやはり格別に美味しいのである。

(千田雅之)

編集顧問	幕内晴朗	近藤丘									
編集主幹	小野稔	千田雅之									
編集	今中和人	碓氷章彦	笠原真悟	加藤達哉	亀井尚						
	齋木佳克	坂本喜三郎	佐藤寿彦	塩瀬明	志水秀行						
	新谷康	鈴木弘行	土田正則	縄田寛	湊谷謙司						
	宮川繁	宮地鑑	横山齊								
胸部外科	第 79 巻 第 3 号 (3 月号) [945 冊]					2026 年 3 月 1 日発行					
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号					小立健太					
印刷所	東京都千代田区飯田橋二丁目 7 番 3 号					日経印刷株式会社					

発行所
株式会社 南江堂 ☎ 113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号

TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660 (編集)
03-3811-7239 (営業)
ホームページ <https://www.nankodo.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複写は、著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

広告申込所: ☎ 113-0033 東京都文京区本郷 5-24-6 本郷大原ビル 6 階 文京メディカル 電話 03-3817-8036